

# 第74期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報  
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社シヨクリュー  
東京、大阪、福岡にて、  
小売・中食・外食向けの食の商談展示会に出展！  
プライベートブランド商品など多彩な商品を提案

### 事業の経過およびその成果



代表取締役社長

勝田 昇

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第74期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

2019年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復には、中国経済減速の影響等により輸出や生産の一部に弱い動きがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、個人消費、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。また、消費者心理は、先行き不透明感から日常品購買を中心に節約志向が依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物および国内水産物とも一部高騰魚種については調整局面にありましたが、総じて調達コストは高い水準を継続しており、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,567億92百万円（前年同四半期比101.6%）となりました。損益面では、売上総利益は111億47百万円（前年同四半期比99.2%）となり、営業利益5億56百万円（前年同四半期比75.3%）、経常利益7億9百万円（前年同四半期比84.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億55百万円（前年同四半期比86.0%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は上昇したものの取扱数量の減少により売上高992億52百万円（前年同四半期比99.4%）となり、間接経費全般の節減に努めましたが売上総利益率の低下によりセグメント利益3億56百万円（前年同四半期比50.1%）となりました。

### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、一部魚種の相場下落等により販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高564億88百万円(前年同四半期比104.3%)となり、販売費の増加によりセグメント損失1億18百万円(前年同四半期はセグメント損失2億68百万円)となりました。

### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価の上昇、販売数量の増加により売上高39億75百万円(前年同四半期比104.6%)、売上総利益率の改善によりセグメント利益2億56百万円(前年同四半期比109.2%)となりました。

### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、販売数量の増加により売上高23億59百万円(前年同四半期比105.5%)となり、原材料価格の上昇などによりセグメント損失88百万円(前年同四半期はセグメント損失41百万円)となりました。

### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱数量の減少により売上高9億53百万円(前年同四半期比95.8%)、セグメント損失27百万円(前年同四半期はセグメント損失40百万円)となりました。

### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、

売上高24億32百万円(前年同四半期比100.4%)、セグメント利益71百万円(前年同四半期比153.4%)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内景気は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな回復基調にあると予測されますが、海外経済や外国為替相場の動向など先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物については世界的な水産物需要の高まり等を背景に調達価格は押しなべて高値を継続し、国内水産物についても漁獲量の減少等を背景に魚価は高値傾向で推移すると予測されます。このような状況の中、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、魚種・業態の垣根を超えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。そのためにグループ一体的な取組みを更に推進していくことを踏まえ、グループ各社における経営管理体制および経営基盤の強化に注力し、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、2020年3月期売上高3,300億円、営業利益26億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務の概況

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (2019年9月30日現在)	前第2四半期 (2018年9月30日現在)	前 期 (2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>		<b>61,175</b>	<b>62,442</b>	<b>59,584</b>
現金及び預金		2,797	2,195	2,739
受取手形及び売掛金		28,040	33,090	32,836
商品及び製品		29,269	26,119	23,288
仕掛品		0	0	0
原材料及び貯蔵品		381	428	398
その他		791	776	491
貸倒引当金		△ 105	△ 167	△ 168
<b>固定資産</b>		<b>18,352</b>	<b>19,366</b>	<b>19,073</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>11,069</b>	<b>10,836</b>	<b>11,026</b>
<b>無形固定資産</b>		<b>217</b>	<b>203</b>	<b>211</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>7,065</b>	<b>8,326</b>	<b>7,835</b>
投資有価証券		5,245	6,820	6,306
その他		2,141	1,931	1,902
貸倒引当金		△ 321	△ 425	△ 372
<b>資産合計</b>		<b>79,527</b>	<b>81,809</b>	<b>78,657</b>

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (2019年9月30日現在)	前第2四半期 (2018年9月30日現在)	前 期 (2019年3月31日現在)
<b>負債の部</b>				
<b>流動負債</b>		<b>50,372</b>	<b>50,559</b>	<b>48,587</b>
支払手形及び買掛金		19,891	24,279	21,635
短期借入金		21,714	20,325	17,080
1年内返済予定の長期借入金		4,546	1,275	4,639
未払法人税等		220	241	386
賞与引当金		698	690	729
その他		3,301	3,747	4,061
<b>固定負債</b>		<b>8,061</b>	<b>10,274</b>	<b>8,377</b>
長期借入金		4,723	6,796	4,962
退職給付に係る負債		2,403	2,398	2,373
役員退職慰労引当金		118	128	132
その他		816	951	908
<b>負債合計</b>		<b>58,434</b>	<b>60,834</b>	<b>56,965</b>

<b>純資産の部</b>				
<b>株主資本</b>		<b>20,190</b>	<b>18,981</b>	<b>20,069</b>
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090	6,090
利益剰余金		7,630	6,419	7,508
自己株式		△ 26	△ 24	△ 25
<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>903</b>	<b>1,993</b>	<b>1,623</b>
その他有価証券評価差額金		1,302	2,390	2,034
繰延ヘッジ損益		5	15	4
土地再評価差額金		△ 356	△ 356	△ 356
退職給付に係る調整累計額		△ 47	△ 56	△ 60
<b>純資産合計</b>		<b>21,093</b>	<b>20,974</b>	<b>21,692</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>79,527</b>	<b>81,809</b>	<b>78,657</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務の概況

### 第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自2019年4月1日 至2019年9月30日)	(自2018年4月1日 至2018年9月30日)	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高		156,792	154,379	325,268
売上原価		145,644	143,136	301,593
売上総利益		11,147	11,242	23,675
販売費及び一般管理費		10,591	10,504	21,312
営業利益		556	738	2,362
営業外収益		263	220	383
受取利息		1	0	1
受取配当金		81	84	117
補助金収入		41	33	59
その他		138	102	205
営業外費用		109	123	241
支払利息		99	96	198
その他		10	27	42
経常利益		709	835	2,505
特別利益		—	10	105
受取保険金		—	10	41
投資有価証券売却益		—	—	64
特別損失		12	29	181
投資有価証券評価損		12	—	—
災害による損失		—	29	62
減損損失		—	—	103
固定資産除却損		—	—	14
税金等調整前四半期(当期) 純利益		696	817	2,429
法人税、住民税及び事業税		165	193	575
法人税等調整額		75	94	236
法人税等合計		241	287	811
四半期(当期)純利益		455	529	1,617
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		455	529	1,617

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自2019年4月1日 至2019年9月30日)	(自2018年4月1日 至2018年9月30日)	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,788	12	2,748
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 945	△ 310	△ 690
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		3,792	△ 413	△ 2,227
IV. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		58	△ 712	△ 168
V. 現金及び現金同等物の期首残高		2,734	2,891	2,891
VI. 連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増加額(△は減少)		—	11	11
VII. 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高		2,793	2,190	2,734

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## OUGホールディングス株式会社

### 会社概要

**主要な事業内容** 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

**設立** 1946年6月12日(創業 1947年10月1日)  
**資本金** 6,495百万円  
**発行済株式総数** 5,562,292株  
**従業員数** 連結 1,419名 単独 25名

### 役員体制

<b>取締役</b>	代表取締役社長	勝田昇
	取締役	増田安利
	取締役	中江一夫
	取締役	橋爪康至
	取締役	梅島信也
	取締役	三浦正晴 (社外取締役)
	取締役	荻野義明 (社外取締役)
<b>監査役</b>	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)
	監査役	小竹伸幸 (社外監査役)
<b>相談役</b>	相談役	谷川正俊
<b>執行役員</b>	執行役員	岡田雅之
	執行役員	山田稔

## 株式の状況

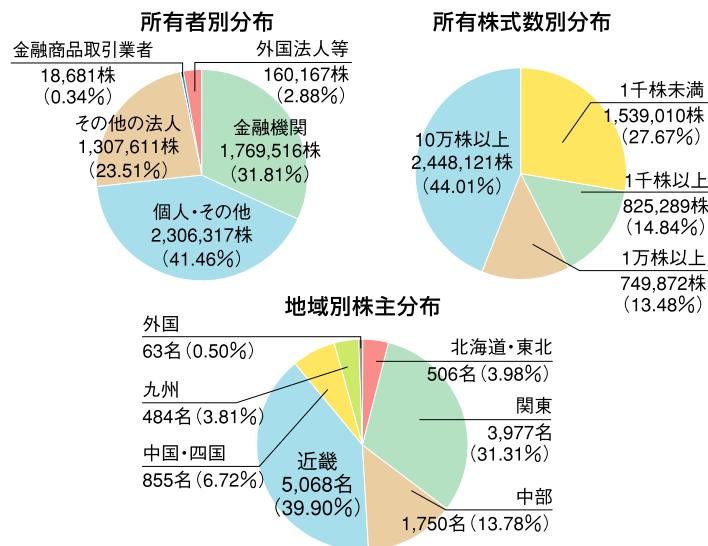
発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	12,703名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.42
日本生命保険相互会社	265	4.77
農林中央金庫	263	4.75
株式会社りそな銀行	184	3.32
株式会社みずほ銀行	175	3.15
三菱UFJ信託銀行株式会社	151	2.74
OUGグループ従業員持株会	117	2.12
株式会社三菱UFJ銀行	115	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	115	2.07
丸大食品株式会社	115	2.07

(注) 持株比率は、自己株式(11,359株)を控除して計算しております。

## 株式分布



### 東京、大阪、福岡にて、 小売・中食・外食向けの食の商談展示会に出展！ プライベートブランド商品など多彩な商品を提案

OUGグループの市場外水産物卸売事業会社である(株)ショクリュウは、本年5月から11月にかけて、東京・大阪・福岡の各地で開催された小売・中食・外食の各業界向け食品の商談展示会においてプライベートブランド商品をはじめとする主力商品の提案を積極的行いました。

具体的には、5月14日～16日はインテックス大阪、8月27日～29日は東京ビックサイトで開催された「外食ビジネスウィーク2019」に、また11月13日～14日はマリンメッセ福岡で開催された「フードスタイル2019」に、それぞれ出展しました。

各地の会場では、主力の冷凍商品・チルド商品をはじめ、同社の宇部工場で製造したサンマ・アカウオ・ホッケ・サバなどの焼き魚シリーズの新製品等のプライベートブランド商品を多数紹介しました。各会場の展示ブースでは、開催期間中、四季折々の揚げたての天ぷらを多数のお客様に試食しても



らい素材が持つ旨みや美味しさをアピールしました。各会場には飲食店、外食チェーン店、ホテル、スーパーマーケットの関係者等が来場され、連日盛況でした。(株)ショクリュウは、自社取扱商品に加えて、OUGグループの養殖事業会社である(株)兵殖の「ひろびろいけすぶり」や米飯炊飯事業会社であるダイワサミット(株)の「一口サイズの冷凍コイン型ごはん」や調理代行事業を行っている(株)ディ・ティ・ネクストの「和・洋・中の料理メニュー」も紹介し、グループとしての豊富な品揃えや強い商品力・企画力を訴求しました。

(株)ショクリュウは、「この先も、食を彩るお手伝い」をコンセプトにグループ会社とも連携し、お客様のニーズに対応する付加価値の高い商品やサービスを提供することに努めてまいります。



展示ブースでは、来場者に揚げたて天ぷらや主力商品のムキエビなどを試食してもらい、商品の良さをアピールしました。

# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先の電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。  
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="https://www.oug.co.jp">https://www.oug.co.jp</a>

## 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

### TOP PAGE



## COMPANY PROFILE



## GROUP について

グループ会社について動画等で紹介しております。



<https://www.oug.co.jp>

## OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田二丁目13番5号  
うおいちニッセイビル5階  
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145  
URL <https://www.oug.co.jp>